

## 『例題 30+ 演習問題 70 でしっかり学ぶ Word 標準テキスト Windows11/Office2021 対応版』

### ファイルを開く際の補足説明

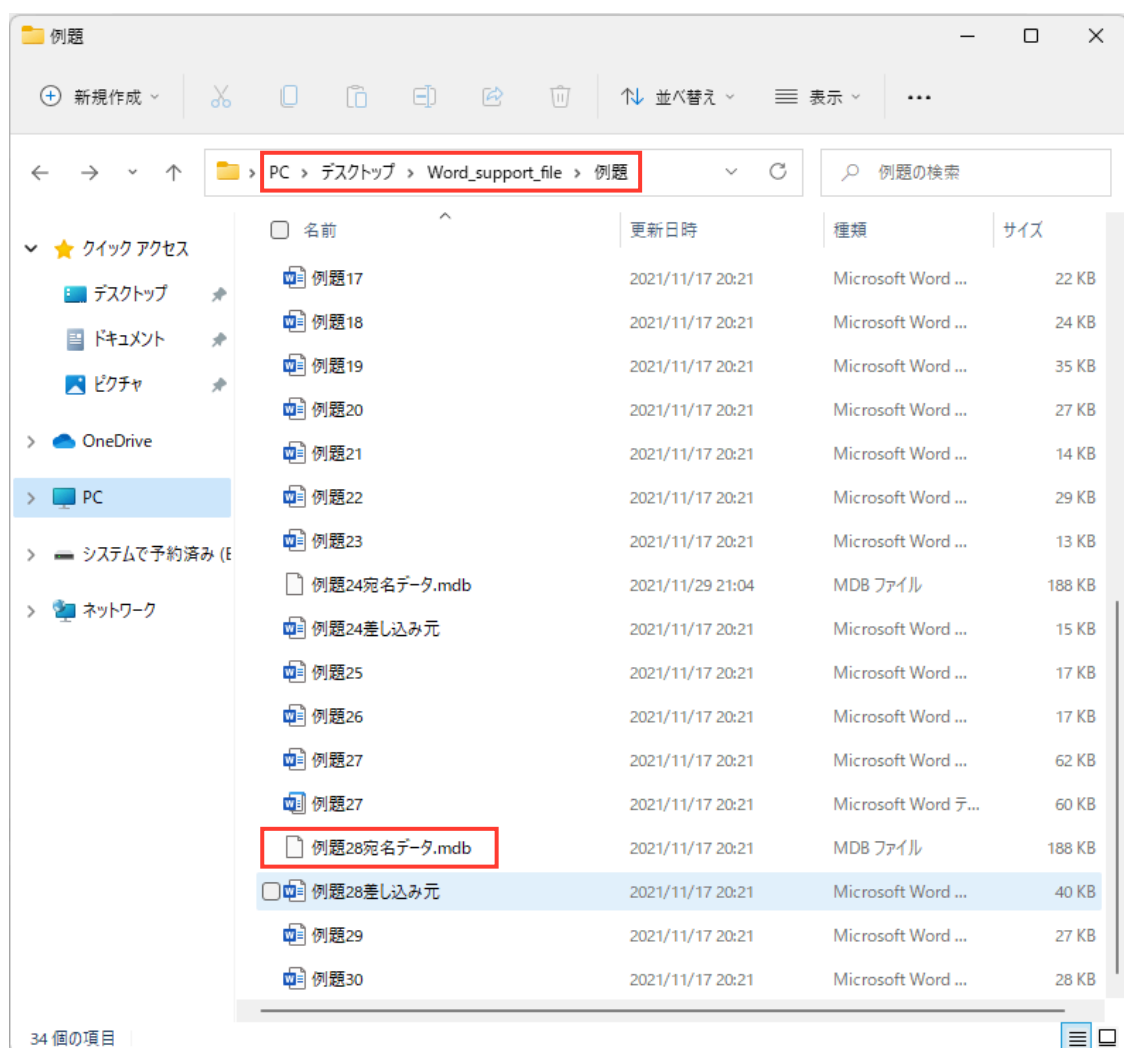
- ・例題 24 差し込み元
- ・例題 28 差し込み元
- ・やってみよう 39 差し込み元
- ・やってみよう 41 差し込み元
- ・総合問題 12 差し込み元

以上のファイルを開く際、既存の宛名データを差し込む場合は、次の手順で行ってください。  
(※以下は、「例題 28 差し込み元」の Word ファイルを開く場合の画面です)

#### ① 対応した宛名データの場所を確認する

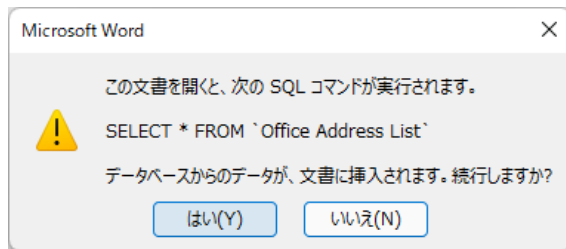
ファイルを開く前に、対応している宛名データがどこにあるか確認します。

※画像では、「例題 28 差し込み元」と対応している「例題 28 宛名データ」は、「デスクトップ」>「Word\_support\_file」>「例題」のフォルダ内にあることがわかります。

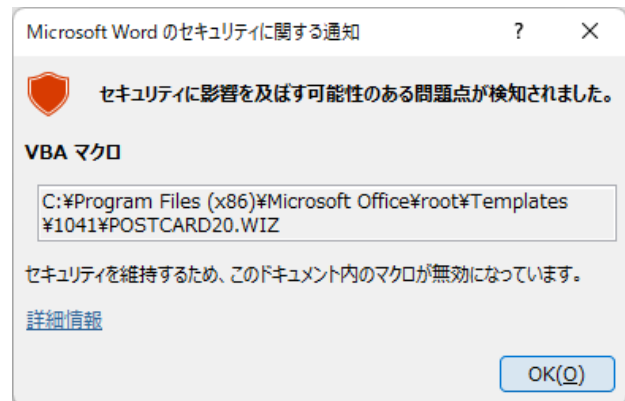


## ② ファイルを開くとメッセージが表示される

以下の画面が表示されたら、それぞれ「はい(Y)」をクリックして、次に進んでください。



左のダイアログは、データベースからのデータ（宛名データ）を挿入することの確認ですので問題ありません。



右のダイアログは、はがきなどの古くからのテンプレートを使っているファイルで出てくるもので、これらのテンプレートが使っている VBA マクロを無効化したことの通知です。この VBA マクロは無効化しても動作に問題ない上、セキュリティ上もより安全になります。

## ③ 対応した宛名データを選ぶ

「データファイルの選択」ダイアログボックスが表示されるので、①で確認したフォルダに移動して、対応した宛名データを選びます。選択後、「開く(O)」をクリックすることで、既存の宛名データを差し込むことができます。

